

こんにちは。埼玉アグリライフサポートセンターの榎場理佳^{かやぼりか}です。今年もより多くの移住希望者と市町村とのマッチングに向けて頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

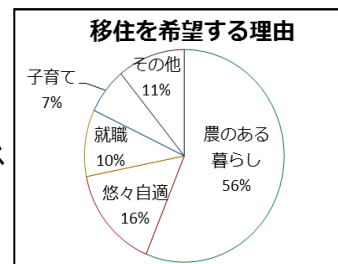


移住を希望する理由の半数以上は「農ある暮らし」

1月末日で開設から半年が過ぎ、延べ119件145名のご相談に対応しました。相談者の「移住を希望する理由」は、「有機農業や自然農法」「家庭菜園」「半農半X」「新規就農」等の「農ある暮らし」を希望される方々が約56%で、年代別では約39%が30代と、比較的若い方々が多いようです。

しかし、「農ある暮らし」を求めて「新規就農」を希望して相談に訪れる方々の中には、農業に対する知識は浅く、経験がほとんどない方々も散見されます。そのため、埼玉県HPに掲載されている新規就農に関する研修制度や就農までの流れについてご紹介させていただいております。中には、改めて就農の難しさに気づき、新規就農から、半農半X等へと希望を変更するなど「農との関わり方を見直す」方も見受けられます。

当センターでは、「新規就農」を希望される方々の夢の実現に向けて、必要に応じて農業体験イベント、農作業ボランティア、農業法人への就職就農、就農相談会などの情報をご紹介しますので、各市町村にこれらの情報がございましたら、引き続き、ご提供をお願い申し上げます。



地域の魅力を体感し移住地決定のきっかけとなる体験ツアー

緑豊かな農山村で自然の心地よさや、人々の温かさを感じながら余暇をのんびりと過ごす「グリーンツーリズム（以下「GT」）」は、移住先の決定に有効な手段です。埼玉県内の各地域でも様々な資源を生かした取り組みが進められ、地域の活性化に一役かっていますが、今回は、移住就農へと結びついている事例も聞かれる群馬県沼田市の取組を紹介させていただきます。

沼田市では、10年前からGTに取り組み、現在では、田植え体験～収穫までの田んぼ編、うどん作りなどを体験するスローフード編、野菜の栽培収穫を体験する親子で農業編の3コースが実施されています。地元農家の指導を受けての体験は、首都圏からのリピーター参加者も多く定員を超える人気のようです。参加者からは、「地元の方々が親切丁寧で好感が持った。」「自然が豊かで食べ物がおいしく、時間の流れがゆったりとしていて、第二のふるさとになった。」などの声も聞かれ、体験を機に移住して新規就農された方々もいらっしゃるそうです。農家からは「やりがいになった。」などの声も聞かれています。

各市町村でも地域の魅力を積極的にアピールする場として引き続き、GTを移住促進のきっかけづくりとして位置付けていただき、情報提供いただけたら幸いです。



地域での移住促進等会議への出席のお願いについて

2月3日、利根地域の未来を考える政策プロジェクト会議（地域振興センター、市町で構成）に出席させていただきました。会議では、当センターの相談状況に関する情報提供を行うとともに、各市町で実現できる「農ある暮らし」に関する情報や相談に役立つ現地情報の交換ができ、大変有意義な時間となりました。各地域におかれましても、移住促進に係る会議等がございましたらお気軽にお声掛けいただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

また、当センターのFacebookでも埼玉の魅力を発信していますので、地域イベント、お祭り情報などを気軽に提供願います。ご協力、お願い致します！

埼玉アグリライフサポートセンター 専属相談員 榎場理佳(月、金、祝日は定休)

〒100-0006 千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 8F (NPO ふるさと回帰支援センター内) TEL: 090-1559-4781 E-mail: saitama@furusatokaiki.net

埼玉アグリライフサポートセンターFacebook <https://www.facebook.com/saitamaagrillife/>

NPO ふるさと回帰支援センターHP <http://www.furusatokaiki.net/> (月5件までHPに情報掲載可能。※事前に県農業ビジネス支援課に相談ください。)